

後志管内余市町～古平町の豊浜トンネル岩盤崩落事故の本復旧対策として建設が進められてきた「豊浜トンネル」の新ルートが、平成13年6月9日に無事完成した。



# 一般国道229号 豊浜トンネルが完成

## 1. 豊浜トンネル岩盤崩落事故

平成8年2月10日(土) 午前8時10分ごろ、余市町～古平町にある一般国道229号豊浜トンネルの古平側坑口付近においてトンネル巻出し部上方の岩盤(高さ70m・幅50m・厚さ13m)が崩落し、巻出し部を含めトンネル部約4.4m区間が破壊された。

トンネル内部では通過中の路線バス1台と乗用車1台が崩落岩盤に埋まり、20名の死亡が確認された。



一般国道229号 豊浜トンネル岩盤崩落



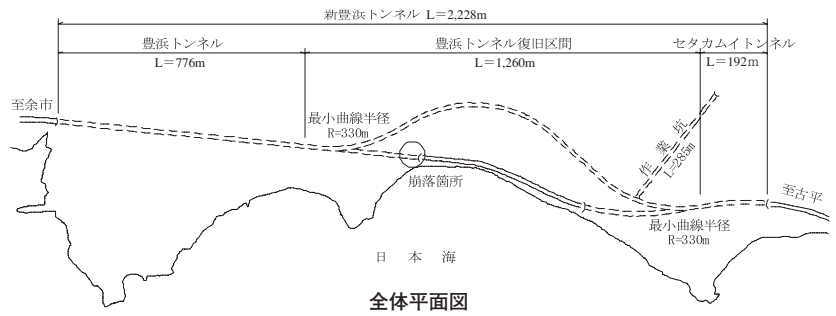


## 2. 新しい「豊浜トンネル」の概要

豊浜トンネル復旧工法技術委員会（委員長：今田 徹・東京都立大学教授）による検討の結果、現豊浜トンネルと現セタカムイトンネルを結ぶ1,260mの別線バイパストンネルを建設することとなった。

平成9年12月14日に着工された新しい豊浜トンネルは、トンネルの掘削を現トンネルから施工すると、長期にわたる片側交互通行規制が生じるなど、地域の産業活動に大きな影響を与えることから、作業坑を設け豊浜側・セタカムイ側と2方向での掘削が進められた。

平成11年1月にセタカムイ側、平成11年10月に豊浜側の接続が無事終了し、引き続き舗装・防災設備・照明設備など各種の工事が進められた。



接続部作業状況



接続部掘削終了

## 3. 供用・完成

平成12年12月8日の供用開始当日には供用に先立ち、小樽開発建設部や警察、消防など地元関係機関による防災訓練が実施された。

事故や火災、通行規制に対する情報の伝達訓練が行われ、防災体制に万全を期し、午前10時30分終日の片側交互通行にて新ルートの供用が開始された。

新ルートへの切り替え後は接続部の旧トンネル閉塞工事や安全施設整備等を行っていたが、平成13年6月9日早朝に全ての工事が完了し、午前10時から関係者による完成報告会が行われた。

(資料提供：小樽開発建設部道路課)



新ルート部供用



左：既設ルート部  
右：新ルート部



新ルート部に  
一般車両が通る



防災訓練状況